

非住宅建築物の省エネ設計を体系的に学ぶ

# 注目される省エネルギー技術と 建築物省エネ法における評価の動向

— ウェブプログラム開発者が語る  
実務設計のポイント —

日時：6月10日(水)、17日(水)  
14:00～16:30

(全5時間／2日間開催)

開催方式：Zoom ウェビナー方式

定員：200名

建築 CPD 情報提供制度認定プログラム (予定)

講師：澤地 孝男氏

一般財団法人日本建築センター顧問

国立研究開発法人 建築研究所 前理事長

専門：建築環境設計、建築設備計画、省エネルギー

建築物分野の脱炭素化は急務であり、非住宅建築物における一次エネルギー消費量評価の理解は不可欠となっています。本講習会では、ウェブプログラム開発に携わった講師が、制度の背景から評価ロジック、設備設計の勘所、そして今後の制度動向までを実務者目線で解説します。

## ■プログラム (予定)

前編：6月10日(水)14:00～16:30

1. 総論
2. 外皮性能
3. 空調機等システム (VAV 制御システムを含む)
4. CO2 濃度制御システムなどの必要換気量可変制御 (デマンド換気制御)
5. 全熱交換器による負荷削減と関連する各種換気設備の動力削減について

後編：6月17日(水)14:00～16:30

6. 冷温水搬送のための VVW 制御システム
7. 中央式熱源の部分負荷特性の特徴と台数制御
8. 分散型熱源：VRF システム (ビルマルチエアコン) の部分負荷特性他の特徴
9. ウェブプログラムの一次エネルギー消費量計算の機能と事例 (照明を含む)
10. 結語

\*都合によりプログラム内容等が変更になる場合があります。

主催：一般財団法人日本建築センター 共催 (予定)：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター

後援 (予定)：公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会、一般社団法人建築設備技術者協会、一般社団法人日本空調衛生工事業協会、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、公益社団法人空気調和・衛生工学会、一般社団法人日本冷凍空調工業会、一般社団法人日本サッシ協会、断熱建材協議会、電気事業連合会、一般社団法人日本ガス協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本バルブ工業会、一般社団法人住宅性能評価・表示協会、特定非営利活動法人建築設備コミッション協会

◆受講料 (消費税込) ※2日間 (前編・後編) の合計金額です。

お申込み QR コード

一般 18,700 円  
情報交流会正会員・後援団体会員 16,830 円

◆申込期限：2026年6月1日(月)

お申込みは、右記 QR コードまたは URL からお願いします。 <https://www.bcj.or.jp/seminar/>  
同一メールアドレスによる複数人のお申込みはできません。

◆お問合せ先◆

一般財団法人日本建築センター情報事業部 TEL：03-5283-0477



2026.02.26